

## 略 歴

こ さか くに つぐ  
小 坂 国 継

## 学 歴

- 昭和37年 3月 愛媛県立新居浜西高等学校卒業  
昭和37年 4月 早稲田大学第一文学部哲学科入学  
昭和41年 3月 早稲田大学第一文学部哲学科卒業  
昭和41年 4月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程（哲学専攻）入学  
昭和43年 3月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程（哲学専攻）修了  
昭和43年 4月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程（哲学専攻）入学  
昭和46年 3月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程（哲学専攻）単位取得満期退学

## 職 歴

- 昭和43年 4月 早稲田大学文学部副手（至昭和46年 3月）  
昭和46年 4月 千葉商科大学非常勤講師（至昭和55年 3月）  
昭和49年 4月 東海大学海洋学部非常勤講師（至昭和51年 3月）  
昭和51年 4月 日本大学文理学部非常勤講師（至昭和53年 3月）  
昭和51年 4月 日本大学法学部非常勤講師（至昭和55年 3月）  
昭和52年 4月 日本大学文理学部（三島）非常勤講師（至昭和54年 3月）  
昭和54年 4月 日本大学国際関係学部専任講師  
昭和56年 4月 日本大学国際関係学部助教授  
昭和58年 4月 早稲田大学政治経済学部非常勤講師（至現在）  
昭和58年 4月 日本大学経済学部助教授  
昭和61年 4月 日本大学経済学部教授  
平成 5年 4月 立正大学仏教学部非常勤講師（至平成11年 3月）  
平成11年 4月 日本大学大学院総合社会情報研究科教授（兼担）  
平成14年 4月 京都大学大学院文学研究科非常勤講師（至平成15年 3月）

(iv)

平成15年4月 東京慈恵医科大学非常勤講師（至平成18年3月）  
平成25年12月 日本大学経済学部 定年退職  
平成25年12月 日本大学大学院総合社会情報研究科 定年退職  
平成25年12月 日本大学経済学部非常勤講師（至現在）  
平成25年12月 日本大学大学院総合社会情報研究科非常勤講師（至現在）

#### その他・学外での主要職歴

学位

平成9年11月

論文「西田哲学の研究」により早稲田大学より博士（文学）を授与

## 研究業績

著書, 学術論文等の題名	発行所・発表雑誌または 発表学会等の名称	発行・発表 年月日
<b>単著</b>		
『明治哲学の研究——西周と大西祝』	岩波書店	2013年12月
『西田哲学の基層——宗教的自覚の論理』	岩波書店	2011年11月
『西田哲学を読む3——絶対矛盾的自己同一の論理』	大東出版社	2009年12月
『倫理と宗教の相剋』	ミネルヴァ書房	2009年10月
『西田哲学を読む2——叡智の世界』	大東出版社	2009年1月
『西洋の哲学・東洋の思想』	講談社	2008年7月
『西田哲学を読む1——場所的論理と宗教的世界観』	大東出版社	2008年6月
『東洋的な生きかた——無為自然の道』	ミネルヴァ書房	2008年5月
『全注釈 善の研究』	講談社	2006年9月
『環境倫理学ノート』	ミネルヴァ書房	2003年3月
『西田幾多郎の思想』	講談社	2002年5月
ハンゲル語訳『絶対無の見性哲学——西田幾多郎の思想』(『절대무의 견성철학-니시다키타로의 사상』)	藏經閣	2003年6月
『西田哲学と現代』	ミネルヴァ書房	2001年12月
『西田幾多郎の思想——二十一世紀をどう生きるか(下)』	NHK 出版	2001年1月
『西田幾多郎の思想——二十一世紀をどう生きるか(上)』	NHK 出版	2000年10月
『善人がなぜ苦しむのか——倫理と宗教』	勁草書房	1999年1月
『西田幾多郎をめぐる哲学者群像』	ミネルヴァ書房	1997年6月
『西田幾多郎』	ミネルヴァ書房	1995年11月
『西田哲学と宗教』	大東出版社	1994年1月
『西田哲学の研究——場所的論理の生成と構造』	ミネルヴァ書房	1991年1月
<b>編著</b>		
『概説 現代の哲学・思想』	ミネルヴァ書房	2012年5月
『倫理学概説』	ミネルヴァ書房	2005年4月

## 共著

『サステナビリティとエコ・フィロソヒー』	ノンブル社	2010年3月
『二十一世紀における倫理的課題の研究』	日本大学教育制度研究所	2003年3月
『京都学派の哲学』	昭和堂	2001年7月
『二十一世紀への思想』	北樹出版	2001年5月
『シリーズ・近代日本の哲学』第一巻	晃洋書房	2000年9月
『現代日本と仏教』第三巻	平凡社	2000年6月
『東西における知の探究』	北樹出版	2000年4月
『概説西洋哲学史』	ミネルヴァ書房	1989年2月
『現代倫理学の展望』	勁草書房	1986年4月
『増補版 現代倫理学の展望』	勁草書房	1998年3月
『三訂版 現代倫理学の展望』	勁草書房	2001年9月
『知ることと悟ること』	勁草書房	1983年3月
『東洋の論理——西田幾多郎の世界』	北樹出版	1981年1月
『哲学叙説』	北樹出版	1980年3月
『哲学への試み』	以文社	1978年4月
『東西思惟形態の比較研究』	東京書籍	1977年3月

## 編集・解説

『大西祝選集Ⅱ』（評論篇）	岩波文庫	2014年2月
『大西祝選集Ⅰ』（哲学篇）	岩波文庫	2013年11月
『西田幾多郎研究資料集成』（全9巻）	クレス出版	2012年10月
『西田幾多郎全集』（全24巻）	岩波書店	2003年3月～ 2009年3月
『田辺元『仏教と西欧哲学』』	こぶし書房	2003年3月

## 翻訳

コプルストン『理性論の哲学』（下）（共訳）	以文社	1990年12月
コプルストン『理性論の哲学』（上）（共訳）	以文社	1988年11月
コプルストン『ヘーゲル以後の哲学』	以文社	1985年4月
コプルストン『ドイツ観念論の哲学』（共訳）	以文社	1984年4月

## 論文名

Metaphysics in the Meiji Period	Journal of International Philosophy, No.3, pp.280 ~ 298	2014.3
Nishida Kitarō und Wang Yangming — ein Prototypus der Anschauung der Wirklichkeit in Ostasien	Research Bulletin, No.75, College of Economics, Nihon University, pp.1 ~ 30	2014.1
「絶対矛盾的自己同一の論理」	『日本の哲学』第14号、昭和堂、12 ~ 28頁	2013年12月
「西田哲学と宗教哲学」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第74号、 1 ~ 13頁	2013年7月
「清沢満之の有限無限論」	『場所』第12号、西田哲学研究会、19 ~ 36頁	2013年4月
Nishida's Philosophy and Religious Philosophy	Journal of International Philosophy, No.2, pp.281 ~ 287	2013.3
「『善の研究』の現代的意義」	『点から線へ』第61号、石川県西田幾多郎記念 哲学館、30 ~ 67頁	2013年2月
「科学と倫理」	『野鳥』第770号、日本野鳥の会、38 ~ 39頁	2012年12月
「西周の宗教観と歴史観」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第71号、 1 ~ 18頁	2012年7月
「西周と行門の論理」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第70号、 1 ~ 15頁	2012年4月
「環境哲学」	『概説現代の哲学・思想』、ミネルヴァ書房、 253 ~ 273頁	2012年5月
「井上円了と「相含」の論理」	『場所』第11号、西田哲学研究会、19 ~ 44頁	2012年4月
「西田哲学と『善の研究』」	『都倫研紀要』第50集、東京都高等学校公民科「倫 理」「現代社会」研究会、31 ~ 38頁	2012年3月
「法然と熊谷直実」	『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』第 12号、1 ~ 12頁	2012年1月
「純粹経験とは何か」	『場所』第10号、西田哲学研究会、31 ~ 46頁	2011年4月
「大西祝と批評の精神」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第66号、 1 ~ 16頁	2011年1月
「内なる自然とディープ・エコロ ジー」	『世界宗教』(2010)、国際宗教研究所、89 ~ 108頁	2010年8月
「私と汝——人格的世界」	『西田哲学研究年報』第7号、西田哲学会、 13 ~ 34頁	2010年7月

(viii)

「慈悲の道徳」	『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』第11号、1～12頁	2010年11月
「法然と悪人往生の思想」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第65号、1～12頁	2010年10月
「絶対矛盾的自己同一について」	『場所』第8号、西田哲学研究会、17～40頁	2010年4月
「サステナビリティと環境倫理学」	『サステナビリティとエコ・フィロソフィ』、ノンブル社、87～111頁	2010年3月
「自然の形而上学と心の形而上学」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第62号、1～13頁	2009年10月
「叡智的世界について」	『場所』第7号、西田哲学研究会、11～36頁	2009年4月
「己事究明——西田哲学と禅(三)」	『大乘禅』第997号、中央仏教社、3～11頁	2009年2月
「己事究明——西田哲学と禅(二)」	『大乘禅』第996号、中央仏教社、3～10頁	2008年9・10月 合併号
「西田哲学の基層」	『理想』第681号、58～70頁	2008年9月
「己事究明——西田哲学と禅(一)」	『大乘禅』第995号、中央仏教社、10～18頁	2008年7・8月 合併号
「道元の真理観——「現成公案」の解釈」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第59号、1～33頁	2008年7月
「『正法眼蔵随聞記』の心(二十六)」	『大乘禅』第994号、中央仏教社、15～24頁	2008年5・6月 合併号
「『正法眼蔵随聞記』の心(二十五)」	『大乘禅』第993号、中央仏教社、16～23頁	2008年4月
「場所的論理と宗教的世界観」	『場所』第7号、西田哲学研究会、19～32頁	2008年4月
「『正法眼蔵随聞記』の心(二十四)」	『大乘禅』第992号、中央仏教社、15～22頁	2008年2・3月 合併号
「良寛と荘子」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第58号、1～18頁	2008年2月
「『正法眼蔵随聞記』の心(二十三)」	『大乘禅』第991号、中央仏教社、13～20頁	2008年1月
「『正法眼蔵随聞記』の心(二十二)」	『大乘禅』第990号、中央仏教社、10～17頁	2007年11・12月 合併号
「『正法眼蔵随聞記』の心(二十一)」	『大乘禅』第989号、中央仏教社、15～22頁	2007年10月

「良寛における無為と遊戯」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第 57 号、 1～26 頁	2007 年 10 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（二十）」	『大乘禪』第 988・987 号、中央仏教社、18～ 27 頁	2007 年 8・9 月 合併号
「『正法眼蔵随聞記』の心（十九）」	『大乘禪』第 986 号、中央仏教社、10～17 頁	2007 年 7 月
「荘子の生死観」	『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』第 8 号、1～12 頁	2007 年 7 月
「荘子における無為自然」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第 56 号、 1～19 頁	2007 年 7 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十八）」	『大乘禪』第 985 号、中央仏教社、25～32 頁	2007 年 6 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十七）」	『大乘禪』第 984 号、中央仏教社、15～22 頁	2007 年 5 月
「荘子の斉同論」	『場所』第 6 号、西田哲学研究会、127～142 頁	2007 年 4 月
「老子における道と自然」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第 55 号、『現 代中国事情』第 18 号（2008 年 3 月）に転載、 1～20 頁	2007 年 4 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十六）」	『大乘禪』第 983 号、中央仏教社、16～25 頁	2007 年 4 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十五）」	『大乘禪』第 982 号、中央仏教社、15～22 頁	2007 年 2・3 月 合併号
「『正法眼蔵随聞記』の心（十四）」	『大乘禪』第 981 号、中央仏教社、14～22 頁	2007 年 1 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十三）」	『大乘禪』第 980 号、中央仏教社、11～18 頁	2006 年 12 月
「日本の心——西田幾多郎の世界」	『西東』第 3 号、鳥影社、6～21 頁	2006 年 12 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十二）」	『大乘禪』第 979 号、中央仏教社、25～22 頁	2006 年 11 月
「西田哲学と環境倫理」	『点から線へ』第 49 号、石川県西田幾多郎記念館、 36～52 頁	2006 年 11 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十一）」	『大乘禪』第 978 号、中央仏教社、18～25 頁	2006 年 10 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（十）」	『大乘禪』第 977 号、中央仏教社、9～16 頁	2006 年 9 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（九）」	『大乘禪』第 976・975 号、中央仏教社、22～ 28 頁	2006 年 7・8 月 合併号
「死の考察」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第 52 号、 21～44 頁	2006 年 7 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（八）」	『大乘禪』第 974 号、中央仏教社、9～16 頁	2006 年 6 月
「『正法眼蔵随聞記』の心（七）」	『大乘禪』第 973 号、中央仏教社、9～16 頁	2006 年 5 月
「今求められている環境倫理」	『野鳥』第 697 号、日本野鳥の会、22～25 頁	2006 年 4 月

(x)

「『正法眼蔵随聞記』の心(六)」	『大乘禅』第972号、中央仏教社、15～23頁	2006年4月
「田辺元と道元」	『場所』第5号、西田哲学研究会、153～162頁	2006年4月
「『正法眼蔵随聞記』の心(五)」	『大乘禅』第971号、中央仏教社、17～31頁	2006年3月
「道元と西田幾多郎——東洋的実在観の特性」	『宗学研究』第48号、曹洞宗宗学研究所、121～126頁	2006年3月
「西田哲学における道元とその思想」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第51号、1～14頁	2006年1月
「『正法眼蔵随聞記』の心(四)」	『大乘禅』第969号、中央仏教社、12～19頁	2005年12月
「『正法眼蔵随聞記』の心(三)」	『大乘禅』第968号、中央仏教社、10～18頁	2005年11月
「『正法眼蔵随聞記』の心(二)」	『大乘禅』第967号、中央仏教社、12～20頁	2005年10月
「『善の研究』について」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第50号、1～14頁	2005年10月
「『正法眼蔵随聞記』の心(一)」	『大乘禅』第966・965号、中央仏教社、10～18頁	2005年8・9月 合併号
「西田哲学と絶対無」	『西東』第2号、鳥影社、50～59頁	2005年8月
「哲学と人生(下)」	『大乘禅』第962号、中央仏教社、21～27頁	2005年5月
「哲学と人生(上)」	『大乘禅』第961号、中央仏教社、14～21頁	2005年4月
「王陽明の『大学問』と万物一体の思想」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第49号、1～17頁	2005年4月
「『善の研究』と陽明学」	『場所』第4号、西田哲学研究会、17～34頁	2005年4月
「王陽明と『伝習録』」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第48号、1～14頁	2005年1月
「自覚と絶対無」	『日本の哲学』第5号、昭和堂、49～67頁	2004年12月
「哲学の学校——教師と生徒の対話」	『西東』創刊号、鳥影社、144～157頁	2004年8月
「日本語と身体」	『場所』第3号、西田哲学研究会、17～32頁	2004年4月
「『善の研究』第四編「宗教」注釈」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第45号、55～95頁	2004年4月
「進歩と永遠」	『知の軌跡』(清水多吉先生古希記念論文集)、北樹出版、57～72頁	2004年3月
「田辺元と懺悔道」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第44号、1～12頁	2004年1月
「『善の研究』第一編「純粹経験」注釈」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第43号、83～113頁	2003年10月



「西田哲学における身体の問題」	『東西宗教研究』第2号、東西宗教交流学会、18～27頁	2003年6月
「環境・人間・共生」	『比較思想研究』第29号、比較思想学会、18～27頁	2003年4月
「正法眼蔵即心是仏」	『場所』第2号、西田哲学研究会、77～92頁	2003年4月
「日本哲学思想の歴史的特質」	第4回日韓学術交流セミナー報告書、日本大学総合科学研究所、25～36頁	2003年3月
「ディープ・エコロジーと自己実現の観念」	『21世紀の倫理的課題の研究』、日本大学教育制度研究所、15～32頁	2003年3月
「実在としての無」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第40号、1～16頁	2003年1月
「日本の近代化と哲学」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第39号、1～20頁	2002年10月
「死の哲学と禅——最晩年の田辺哲学（五）」	『大乘禅』第929号、中央仏教社、33～38頁	2002年7月
「死の哲学と禅——最晩年の田辺哲学（四）」	『大乘禅』第928号、中央仏教社、21～26頁	2002年6月
「地球環境と経済倫理」	科研費研究報告書『地球環境と経済倫理に関する研究——社会科学と人文科学の融合からのアプローチ』（課題番号：11630059）、4～21頁	2002年6月
「死の哲学と禅——最晩年の田辺哲学（三）」	『大乘禅』第927号、中央仏教社、41～45頁	2002年5月
「死の哲学と禅——最晩年の田辺哲学（二）」	『大乘禅』第926号、中央仏教社、21～28頁	2002年4月
「動物の権利と解放」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第37号、1～24頁	2002年4月
「環境と共生」	『場所』創刊号、西田哲学研究会、1～20頁	2002年4月
「死の哲学と禅——最晩年の田辺哲学（一）」	『大乘禅』第925号、中央仏教社、36～44頁	2002年3月
「西田哲学と環境倫理の問題」	『日本大学教育制度研究所紀要』第33集、1～27頁	2002年3月
「西田哲学における自己と自然（下）」	『大乘禅』第924号、中央仏教社、20～24頁	2002年1月
「西田哲学における自己と自然（上）」	『大乘禅』第923号、中央仏教社、13～19頁	2001年12月

(xii)

「正法眼蔵生死注釈」	『大乘禪』第920号、16～23頁	2001年10月
「親鸞と道元における自然」	『研究紀要』日本大学経済学部、第35号、1～20頁	2001年10月
「京都学派と「近代の超克」の問題」	『京都学派の哲学』、昭和堂、286～309頁	2001年7月
「正法眼蔵現成公案注釈」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第34号、1～35頁	2001年7月
「新しい実在観」	『21世紀への哲学』、北樹出版、187～200頁	2001年5月
「世代間倫理と公正の問題」	『研究紀要』日本大学経済学部、第33号、1～15頁	2001年4月
「環境倫理と経済倫理」	『経科研ニュース』第19号、11～21頁	2000年10月
「歴史と哲学」	『シリーズ・近代日本の知』第1巻、晃洋書房、109～130頁	2000年9月
「秋月龍珉の西田哲学観」	『大乘禪』第909号、中央仏教社、14～20頁	2000年9月
「西田幾多郎から学ぶべきもの」	『点から線へ』第40号、1～15頁	2000年8月
「西田哲学と仏教」	『現代日本と仏教』第3巻、平凡社、164～180頁	2000年6月
「戦争と哲学者——近代日本哲学の運命」	『研究紀要』（日本大学経済学部）、第30号、1～38頁	2000年4月
「高山岩男と所の論理」	『近代日本における倫理教育の研究』日本大学教育制度研究所、183～215頁	2000年3月
「西田幾多郎と高山岩男」	『日本大学教育制度研究所紀要』第31集、1～18頁	2000年3月
「土地倫理の諸問題」	『研究紀要』日本大学経済学部、第29号、17～32頁	1999年10月
「地球環境と新倫理学」	『研究紀要』日本大学経済学部、第28号、1～15頁	1999年4月
「教育者としての西田幾多郎と『善の研究』」	『近代日本の倫理教育の研究プロジェクト講演集（一）』、日本大学教育制度研究所、47～75頁	1999年3月
「西田幾多郎——人と思想（下）」	『日本及日本人』第1634号、65～74頁	1999年4月
「西田幾多郎——人と思想（上）」	『日本及日本人』第1633号、29～37頁	1999年1月
「親鸞と悪人正機説」	『研究紀要』日本大学経済学部、第27号、17～37頁	1998年10月

「カントと道德神学」	『研究紀要』 日本大学経済学部、第 26 号、 27 ～ 42 頁	1998 年 4 月
「比較思想の方向——対論から融 論へ」	『比較思想研究』 第 24 号、比較思想学会、8 ～ 17 頁	1998 年 3 月
「Spinozismus と Nishidismus」	『東西における知の探究』、北樹出版、379 ～ 393 頁	1998 年 1 月
「空と虚無」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 25 号、 59 ～ 105 頁	1997 年 10 月
「久松真一と東洋的無」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 24 号、 1 ～ 26 頁	1997 年 4 月
「絶対無の諸相」	『精神科学』 第 35 号、1 ～ 18 頁	1996 年 11 月
「宗教的自覚の論理——スピノザ と西田幾多郎」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 23 号、 1 ～ 21 頁	1996 年 10 月
「和辻論理学と空の弁証法」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 22 号、 21 ～ 38 頁	1996 年 4 月
「西田幾多郎と三木清」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 21 号、 1 ～ 25 頁	1995 年 10 月
「現代日本哲学と絶対無——田辺 元と高橋里美の西田哲学批判」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 20 号、 1 ～ 39 頁	1995 年 4 月
「行為的直観」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 19 号、 57 ～ 76 頁	1994 年 10 月
「ヨブ記と応報思想」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 18 号、 1 ～ 19 頁	1994 年 4 月
「実体概念と人格の同一性」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 17 号、 1 ～ 19 頁	1993 年 10 月
「哲学と宗教との関係」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 16 号、 1 ～ 11 頁	1993 年 7 月
「逆対応とパラドックス——西田 幾多郎とキルケゴールにおける 信仰の論理」	『比較思想研究』 第 19 号、比較思想学会、39 ～ 48 頁	1993 年 3 月
「逆対応の論理——成立と構造」	『研究紀要』 (日本大学経済学部)、第 15 号、81 ～ 114 頁	1992 年 4 月
「自己の問題——西田幾多郎と W. ジェームズ (4)」	『日本デューイ学会紀要』、第 32 号、67 ～ 72 頁	1991 年 6 月

On the Character of Nishida Philosophy	Research Bulletin, No.13, College of Economics, Nihon University, pp.33 ~ 45	1991,3
「西田哲学の性格とその発展について」	『研究紀要』日本大学経済学部、第11号、17 ~ 26頁	1990年7月
「認識の問題——西田幾多郎とW. ジェームズ(3)」	『日本デューイ学会紀要』、第31号、67 ~ 72頁	1990年6月
「二つの弁証法——ヘーゲルと西田幾多郎」	『比較思想研究』第16号、比較思想学会、168 ~ 176頁	1990年3月
「無の自覚的限定としての世界——西田哲学の転回」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第10号、1 ~ 19頁	1989年10月
「一元論と多元論——W. ジェームズのヘーゲル批判」	『人間と創造』、勁草書房、45 ~ 60頁	1989年10月
「意識の問題——西田幾多郎とW. ジェームズ(2)」	『日本デューイ学会紀要』第30号、100 ~ 106頁	1989年6月
「場所の論理——西田哲学の構造」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第9号、1 ~ 31頁	1989年4月
「自覚と絶対自由意志——初期西田哲学の展開」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第8号、15 ~ 29頁	1988年10月
「西田幾多郎とW. ジェームズ」	『日本デューイ学会紀要』第29号、93 ~ 103頁	1988年6月
「初期西田哲学における純粹経験の概念と諸相」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第6号、43 ~ 98頁	1987年10月
「井上哲次郎の現象即實在論」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、第4号、201 ~ 222頁	1986年10月
「西周と近代日本の哲学」	『研究紀要』(日本大学経済学部)、創刊号、37 ~ 84頁	1985年4月
「西周と「人世三宝説」」	『経済集志』第54巻別号2、日本大学経済学部、63 ~ 75頁	1984年10月
「和辻哲郎と比較文化の問題」	『比較思想研究』第10号、比較思想学会、96 ~ 101頁	1984年3月
「大西祝と良心論」	『経済集志』第53巻別号2、15 ~ 35頁	1983年10月
「純粹経験の概念と諸相」	『日本大学国際関係学部研究年報』第2集、1 ~ 14頁	1981年2月
「西田哲学と田辺哲学」	『東洋の論理——西田幾多郎の世界』、北樹出版、179 ~ 193頁	1981年1月

「現代科学と批判理論」	『日本大学生活科学研究所報告』第3号、83～90頁	1980年3月
「場所の論理の生成と構造」	『日本大学国際関係学部研究年報』第1集、1～14頁	1980年2月
「西田哲学」	『東西思惟形態の比較研究』、東京書籍、361～381頁	1977年3月
「フィヒテと西田哲学」	『創文』第149号、創文社、14～22頁	1976年3月
「スピノザとヘーゲル」	『東海大学紀要』（沼津教養部）、第2輯、77～93頁	1975年7月
「スピノザにおける自然の概念」	『フィロソフィア』第59号、早稲田大学哲学会、43～68頁	1971年12月
<b>学会・発表テーマ</b>		
「井上円了の相含論とスピノザ主義」	東洋大学国際哲学研究センター	2013年3月
「絶対矛盾的自己同一の論理」	土井道子記念京都哲学基金主催シンポジウム「近代日本哲学と論理」	2012年12月
「西田哲学と宗教哲学」	東洋大学国際哲学研究センター	2012年7月
「内在的超越と超越的内在——二つの实在観」	早稲田大学哲学会	2012年7月
「西田哲学と『善の研究』」	東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会	2011年11月
「『善の研究』の現代的意義」	寸心忌記念講演会 西田幾多郎哲学記念館	2011年6月
「宗教的な生きかた」	NHK文化センター（町田）	2011年3月
「東洋的な生きかた」	NHK文化センター（町田）	2010年9月
「東洋と西洋——思惟様式の差異」	社団法人シリウス	2010年7月
「死の意味を考える」	NHK文化センター（町田）	2010年3月
「サステナビリティと環境倫理学」	TIEPh-ICAS 国際セミナー 東洋大学	2009年10月
「生と死を考える」	NHK文化センター（町田）	2009年9月
「西田幾多郎の宗教思想の特質」	日本宗教学会（第68回大会）	2009年9月
「私と汝——人格の世界」	西田哲学会（第7回大会）	2009年7月
「最晩年の西田哲学」	日本工業倶楽部	2009年6月

「自然の形而上学と心の形而上学」	比較思想学会（第4回関東部会）	2008年12月
「エコロジーかエコノミーか」	TIEPh-ICAS 国際セミナー 茨城大学	2008年11月
「他の内に自己を見る」	日本宗教学会（第67回大会）	2008年9月
「内なる自然と外なる自然」	TIEPh-ICAS 国際セミナー 東洋大学	2007年12月
「東洋の自然観」	日本工業倶楽部	2007年10月
「西田哲学の根底にあるもの」	大正大学哲学会	2007年7月
「日本の心——西田幾多郎と道元」	日本工業倶楽部	2006年10月
「生の解釈について」	NHK 第二放送	2006年6月
「悪人の救済について」	NHK 第二放送	2006年6月
「善人の受難について」	NHK 第二放送	2006年6月
「徳と幸福の関係について」	NHK 第二放送	2006年6月
「日本の心——西田幾多郎の世界」	わたつみ友の会	2006年4月
「道元と西田幾多郎」	曹洞宗総合研究センター（第7回学術大会）	2005年11月
「西田哲学と環境倫理——ディープ・エコロジーに寄せて」	石川県西田幾多郎記念哲学館	2005年11月
「哲学者西田幾多郎の人生観」	東京工芸大学秋季公開講座	2004年11月
「西田哲学と絶対無」	日本工業倶楽部	2004年11月
「西田幾多郎と王陽明」	第19回国際宗教学宗教史会議（IAHR）	2004年3月
「自覚と絶対無」	京都哲学基金シンポジウム	2003年12月
「永遠の今」	日本宗教学会（第62回大会）	2003年9月
「西田哲学の場所と行為的直観」	西田哲学会（第1回）	2003年6月
「日本哲学思想の歴史的特質」	第4回日韓学術交流セミナー 日本大学総合科学研究所	2002年11月
「西田哲学における身体の問題」	東西宗教交流学会	2002年7月
「環境・自己・共生」	比較思想学会（第29回大会）	2002年6月
「宗教と地球環境の問題」	日本宗教学会（第60回大会）	2001年9月
「西田哲学と倫理」	経営哲学会関東部会	2001年5月
「物の論理と心の論理」	日本工業倶楽部	2001年3月
「世代間倫理と正義論」	日本大学教育制度研究所	2001年3月
「環境倫理と経済倫理」	日本大学経済科学研究所	2000年10月

「西田幾多郎から学ぶべきもの」	寸心講演会 金沢市県立社会教育センター	2000年6月
「西田哲学と絶対無」	日本工業倶楽部	1999年5月
「教育者としての西田幾多郎」	日本大学教育科学研究所	1998年10月
「西田哲学の課題」	西田・田辺記念講演会	1997年6月
「比較思想の方向——対論から融論へ」	比較思想学会（第24回大会）	1996年12月
「Spinozismus と Nishidismus」	比較思想学会（1996年第4回関東部会）	1996年12月
「空の弁証法」	早稲田大学哲学会	1996年6月
「絶対無の諸相」	日本大学哲学会（第46回大会）	1995年12月
「一在愛について」	日本宗教学会（第54回大会）	1995年11月
「宗教と応報主義」	日本宗教学会（第53回大会）	1994年9月
「人格の同一性について」	日本宗教学会（52回大会）	1993年9月
「逆対応の論理について」	日本宗教学会（第51回大会）	1992年9月
「逆対応とパラドックス——西田幾多郎とキルケゴールにおける信仰の論理」	比較思想学会（第19回大会）	1992年6月
「西田哲学における非連続の連続の概念」	日本宗教学会（第49回大会）	1990年9月
「自己の問題——西田幾多郎とW. ジェームズ（4）」	日本デューイ学会（第34回大会）	1990年9月
「二つの弁証法——ヘーゲルと西田幾多郎」	比較思想学会（第16回大会）	1989年10月
「中期西田哲学における「場所」の概念」	日本宗教学会（第48回大会）	1989年9月
「認識の問題——西田幾多郎とW. ジェームズ（3）」	日本デューイ学会（第33回大会）	1989年9月
「初期西田哲学における「絶対自由意志」の概念」	日本宗教学会（第47回大会）	1988年9月
「意識の問題——西田幾多郎とW. ジェームズ（2）」	日本宗教学会（第47回大会）	1988年9月
「W. ジェームズにおける「意識の流れ」について」	日本宗教学会（第46回大会）	1988年9月
「西田幾多郎とW. ジェームズ（1）」	日本デューイ学会（第31回大会）	1987年9月
「西周と教門論」	日本宗教学会（第45回大会）	1986年9月

( xviii )

「初期西田哲学における純粹経験 の概念」	日本宗教学会（第 39 回大会）	1983 年 11 月
「和辻哲郎と比較文化の問題」	比較思想学会（第 10 回大会）	1983 年 6 月